

2015年11月吉日

音楽科の卒業生のみなさまへ

宮城学院女子大学
学長 平川 新

1886年(明治19)に発足した宮城女学校は、開校当初から賛美歌やオルガンの音色など、華やかな音楽の雰囲気にも包まれ、西洋文化を体現するあこがれの存在でした。その後1916年(大正5)に音楽の専攻科を設置して、本格的に音楽教育に取り組んでまいりました。1949年(昭和24)に戦後の新制大学として宮城学院女子大学は出発しますが、最初に開設されたのは音楽科と英文科でした。「音楽の宮城」といわれてきたゆえんです。

爾来六十有余年、多くの卒業生を送り出し、音楽界や教育界で活躍する方々に恵まれてきました。宮城学院の音楽科が誇りとすべき、とても大切な財産だと考えております。

宮城学院が有する、そのような音楽の力を活かし、発信力を高めていくために、本学では2016年4月に「音楽リエゾンセンター」を開設することにしました。同センターでは、本学が有する音楽資源を活用しながら、本学における音楽行事の企画・制作や、全学的な音楽教育の推進をはかるとともに、卒業生や音楽関係者とのつながりを深めていくために、「認定演奏員」の制度を創設することにいたしました(詳細については別紙をごらんください)。また、音楽関係者との新たな関係づくりのために、「楽友ネットワーク」の立ち上げも予定しております。

いま宮城学院女子大学では、音楽教育の歴史と伝統を継承しつつ、新しい「音楽の宮城」を創造するために、音楽科の改組をはじめ、さまざまな取り組みをおこなっています。

卒業生のみなさまにおかれては、母校の音楽科に目を向けていただき、音楽リエゾンセンターをご活用いただければ幸いです。あわせて、新生音楽科にもご支援のほど、お願い申し上げます。